Ｎｏ．１	議席番号	氏　　名	質問事項・要旨及び答弁者
	５	新井田　昭男	

１．７．３０行政津波避難対応について

町　長

７月３０日、午前８時２５分ごろに発生したロシア極東カムチャツカ半島付近において発生した巨大地震（Ｍ８．８）では、太平洋沿岸部に津波警報が発令され、北海道では４万５千人以上が避難をしました。巨大地震と津波が想定される道内各自治体は、避難指示の遅れや漏れなど初動対応の課題が浮き彫りになったと認識をしています。これを教訓に防災対策の強化と課題の解決が求められています。

我が町では、津波予報から津波警報に切り替わった午前９時４０分頃に合わせ、防災無線で避難指示が発令されました。当時の津波到達時間は午前１０時３０分ごろと発表され、その間、町長を本部長とした災害対策本部が設置され、町職員や関係機関の協力の中、避難誘導に尽力されたと認識をしております。

この度の突発的な有事に対し、設置された災害対策本部が防災弱者を含む町民のために適切に運営されたと感じていますが、次の内容について町長の見解を伺います。

①　津波警報発令において、国保病院・特養いさりび、また、児童生徒の避難対応は適切に行われたのか。

②　複数の各地区住民が同じ避難所を共有する場合の避難施設の適正環境が確保されていたのか。（特に釜谷地区・泉沢地区）

③　観光客への避難対応は適切に行われたのか。

④　情報発信面では予報から警報に切り替わり、防災無線での発信がありましたが、その後の情報は無かったと認識しています。防災無線による定期的な情報発信が必要だと思いますが。

⑤　泉沢地区では、町職員による避難状況の確認がなかったと感じています。行政側ではこうした避難状況の実態に対して災害対策本部で情報の収集を行うと思われますが、なぜ確認がなかったのか。

以上の内容について見解を伺います。